



## 探究科の2年次生が、立命館アジア太平洋大学を訪問！

探究科

探究科の2年次生が、11月1日(水)に立命館アジア太平洋大学(以下、「APU」という。)を訪問しました。大分県別府市にあるAPUは、在籍するおよそ5,000人の学生のうち、半数が海外から来日した留学生(APUでは、「国際学生」と呼んでいます。)で、キャンパスでは日本語以外に様々な言語が使われています。また、希望する学生は、入学後の1年間、キャンパス内にある学生寮で、国際学生と共同生活を送ることができます。

当日は、APUに到着した後、APUのサークル



ツインタワーの前で記念撮影



フリーインタビューに挑戦する生徒



の一つであるGASSのみなさんにキャンパスを案内していただきました。はじめに案内していただいたグリーンcommons(J棟)は、建物の中央部分に大分県産の木材を使用した新しい建物で、大学生が授業に参加している様子や授業の間に課題に取り組んでいる様子を見学させていただきました。さらに、最も新しい学生寮であるAPハウス5や入学式等が行われるミレニアムホールを紹介していただきました。

キャンパスツアーの後には、学食で昼食をとりました。学食では宗教に配慮されたメニューや世界各地

の食材を使ったメニューが用意されていました。

昼食の後はいよいよフリーインタビューです。課題研究の研究班に分かれて、キャンパス内を歩いている国際学生に声をかけ、英語で質問しました。本校の生徒は、「日本で生活して、驚いた出来事や習慣は何？」や「ひらがなのうち、最も習得が難しい文字はどれだった？」等を尋ねました。さらに、課題研究に関わる質問を行った研究班もあり、国語班は「どんな作家の本を読むのか？」や「出身国ではどんなジャンルの本が好まれているのか？」、公民班は「ゴミの削減に向けて、出身国ではどんな対策が取られているのか？」、生物1班は「バイオ燃料を出身国では使用しているのか？」等を尋ねました。さらに、ペットボトルフリップについて研究している物理1班は、国際学生にペットボトルを渡して、実際に挑戦していただきました。



タイカレーが辛かった！

を発表し、国際学生やGASSのみなさんから御講評いただくことができました。

探究科の2年次生は、普段の学校とはまったく違った環境で、英語を使った活動に取り組むことができました。12月9日(土)から始まる校外研修では、シンガポールやマレーシアを訪問します。このたびの活動の成果を発揮して、充実した研修となることを期待しています。



国際学生とフリーインタビューの成果をポスターにまとめる



フリーインタビューの成果を英語で発表



## NCAの時間に、2年次生を対象とした「出前講義」を実施しました。

普通科  
探究科

2年次のすべての生徒を対象とした出前講義を、10月18日(水)の総合的な探究の時間(本校では、「NCA」と呼んでいます。)に開催しました。出前講義は、様々な大学から先生方をお迎えし、講義を通して将来の進路を考えるためのものです。今年度は11講座を開講し、生徒はこの中から2つの講座を選んで受講しました。

出前講義が終了した後に、2年次生を対象として実施したアンケート調査には、「英語に関わる検定試験が、**実用英語技能検定(英検)**だけではないことがよくわかった。将来、グローバルに活躍したいので、**IELTS**や**ケンブリッジ英検**に挑戦

してみたいと思った。」や「シロアリは、家を食べる害虫のイメージしかなかったが、熱帯雨林に生息するシロアリは、**分解者としての役割を果たしている**と聞き、とても面白かった。」「看護師は医師の補助をするものだと思っていたけれど、**患者の自己実現を支えるもの**だということが、よくわかった。」等がありました。

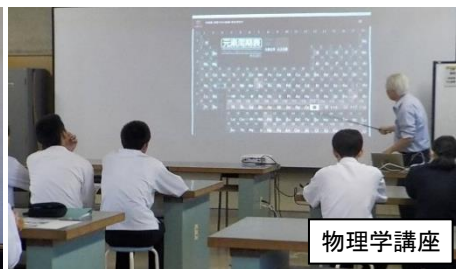
1時間足らずの短い時間でしたが、講師の先生方の熱心なお話により、それぞれの分野の魅力をしっかり理解することができました。このたびいただいた貴重な機会を生かし、これからも**自身の興味・関心**をしっかり見定め、**進路選択**に取り組んでください。

出前講義で実施した講座と講師の先生方等

講座	テーマ	講師等
外国語文学・外国語学	英語資格試験の特徴と対策	山口大学国際総合学部国際総合学科 准教授 藤原 まみ
教育学(中学校・高等学校)	これからの教員に求められること	山口大学教育学部教職大学院 准教授 藤上 真弓
経済学・商学・経営学	お金の話	山口大学経済学部経営管理講座 教授 兵藤 隆
生物学	ボルネオの熱帯雨林の虫たちのかかわり	山口大学大学院創成科学研究科(農学)生物資源科学研究分野 教授 竹松 葉子
医学	医学部に入りたい君に僕が伝えたいこと	山口大学大学院創成科学研究科(医学) 講師 木田 裕之
看護学	ケアリングと自分らしく生きること	山口大学大学院医学系研究科保健学専攻臨床看護学講座 講師 江藤 亜矢子
薬学	右手と左手の関係が薬にもある～薬とキラリティー～	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部 教授 松永 浩文
機械・情報・電子工学	情報工学のもたらす新世界探訪ー情報工学の可能性は∞ー	九州工業大学情報工学研究科知能情報工学研究系 教授 齊藤 剛史
物理学	加速器：宇宙・素粒子から医療・考古学まで	九州大学大学院工学研究科エネルギー量子工学部門 教授 池田 伸夫
法学	法律理論で世の中は変わる？ー訴訟弁護団のアドバイザーを務める経験からー	北九州市立大学法学部法律学科 准教授 水野 陽一
心理学	創造的なアイデアを生み出すための心理学	東亜大学人間科学部心理臨床・子供学科 教授 織田 涼



心理学講座



物理学講座

大学の先生方による講義を聴講する生徒

## 山口東京理科大学薬学部で、医薬品の合成に挑戦しました。

普通科  
探究科

10月15日(日)に本校の生徒と宇部高等学校48人が、山陽小野田市にある山口東京理科大学薬学部で、医薬品の合成に挑戦しました。本校から参加した生徒は、普通科の1年次生が1人、2年次生が5人、探究科の1年次生が11人、2年次生が9人です。

このたびは、本校のOBでもある薬学部教授 松永 浩文 先生の御指導により、脳梗塞や筋萎縮性側索硬化症の治療薬として用いられている**エダラボン注射液**を合成しました。実験では、**アセト酢酸エチル**と有毒な物質である**フェニルヒドラジン**を混合し、混合溶液



宇部高等学校の生徒と協力して、実験に挑戦!

の温度を140℃に保ちながら合成しました。溶液の温度を水の沸点よりも高い140℃に保つため、シリコンオイルを入れた**オイルバス**で加熱をしたり、溶液から結晶を取り出すため**ブフナーろうと**で吸引ろ過をしたりするなど、普段の学校では体験できない実験に取り組むことができました。さらに、実験の合間には、宇部高等学校の生徒と交流し、**普段の学校生活や将来の夢**について語り合うことができました。このたび参加した生徒の中には、**将来薬剤師を目指す生徒**もいます。夢の実現に向け、日々の学習に励んでください。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。